National

施工説明書

クローゼット扉レセンテ
ケーシング固定枠・扉
LiviEシリーズ

表面に枠、裏面に扉の施工のしかたを記載しています。

■施工前にこの施工説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
■梱包材や残材は、法律に従って適切に処理してください。
■取扱説明書は必ずお客様にお渡ししてください。(施工完了後、使いかたを説明してください。)

安全上のご注意

必ずお守りください

■施工される人への危害を未然に防止するためと、お使いになる人や他の人への危害、物的損害を未然に防止するため、設置工事において必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った設置をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠注意	この表示の欄は「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害、損害の程度」です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は、絵表示の一例です)

⊘	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
❗	この絵表示は、必ず実行していただく「指示」内容です。

⚠注意

⊘ 禁止	●施工時に商品仕様を変えるような加工をされた場合は、品質保証責任を負いかねます。 仕様を変えると、ケガをするおそれがあります。	❗ 必ず守る	●1.5間用の化粧枠の運搬は必ず二人作業で行う。 守らないと、落下によるケガの原因となります。
❗ 必ず守る	●必ず付属のねじを使用する。 使用しないとレールの落下の原因となります。		●必ず下振り・水準器などで、たて枠・よこ枠の垂直・水平の確認をする。 水平・垂直に取り付けないと、扉が落下する原因となります。

施工上のご注意

●よこ枠は強度のある梁に取り付けてください。(梁が弱いと扉が下がって開閉できません。)
●レールの取り付け時に、ねじを締めすぎないでください。
(ねじを締めすぎると、レール幅が狭まり走行性が悪くなるおそれがあります。)

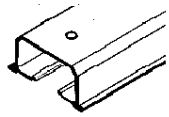
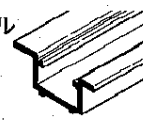
扉の取扱上のご注意

●商品を立てかけて置かないでください。(扉の反りのおそれがあります。)

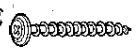
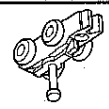
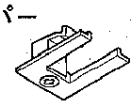
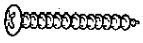
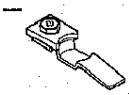
部材・部品表

商品に梱包されている部材・部品は下表の通りです。
梱包の内容をご確認ください。

枠部材表

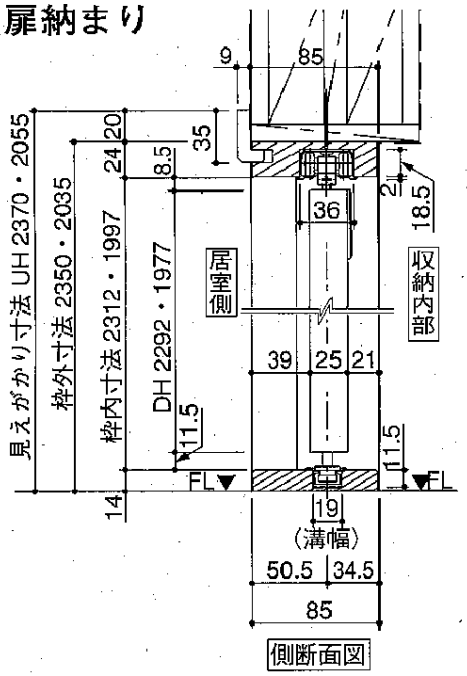
部材名	入り数	部材名	入り数	部材名	入り数
たて(左・右)枠	各1	上レール 	1	下レール 	1
よこ(上・下)枠	各1				
部品袋	1				

枠部品袋明細表

部品名	0.5間	0.75間	1.0間S	1.5間	部品名	0.5間	0.75間	1.0間S	1.5間
枠組立て用ねじ φ4.8×50 	8	8	8	8	上部ランナー 	2	4	4	6
キャップ(枠と同色) φ13	8	8	8	8	下部ランナー	2	4	4	6
たて枠・よこ枠取り付け用木ねじ 皿φ3.8×51	10	10	10	12	上部ストッパー 	1	2	2	2
上レール取り付け用木ねじ トラスφ3.8×40 	3	5	6	8	下部ストッパー 	1	2	2	2
下レール取り付け用木ねじ 皿φ3.5×16	3	5	6	8					

※扉・取っ手は別梱包となりますので、ご確認ください。

■扉納まり

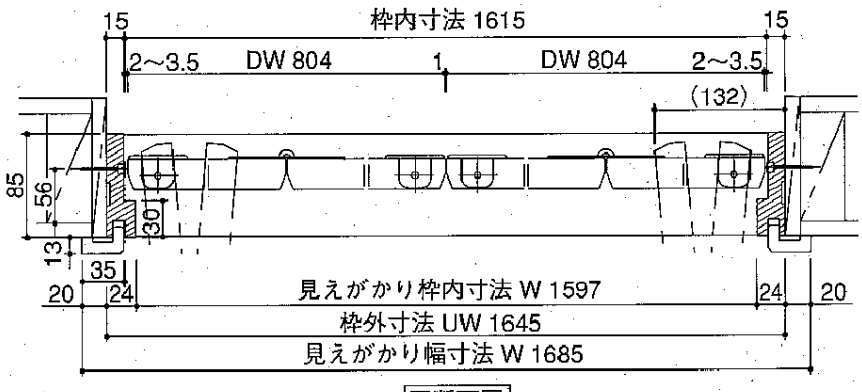


側断面図

■たて枠納まり例

〔寸法単位：mm〕

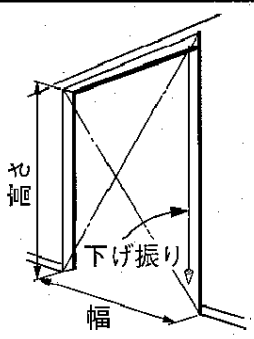
1.0間Sの場合



平断面図

枠の取り付け施工手順

施工まえの準備



注意 **上吊りです！！**
よこ枠は強度のある梁に取り付けてください。
(梁が弱いと扉が下がって開閉できません。)

[参考]〈扉重量約30kg×枚数の重さ〉が梁にかかります。

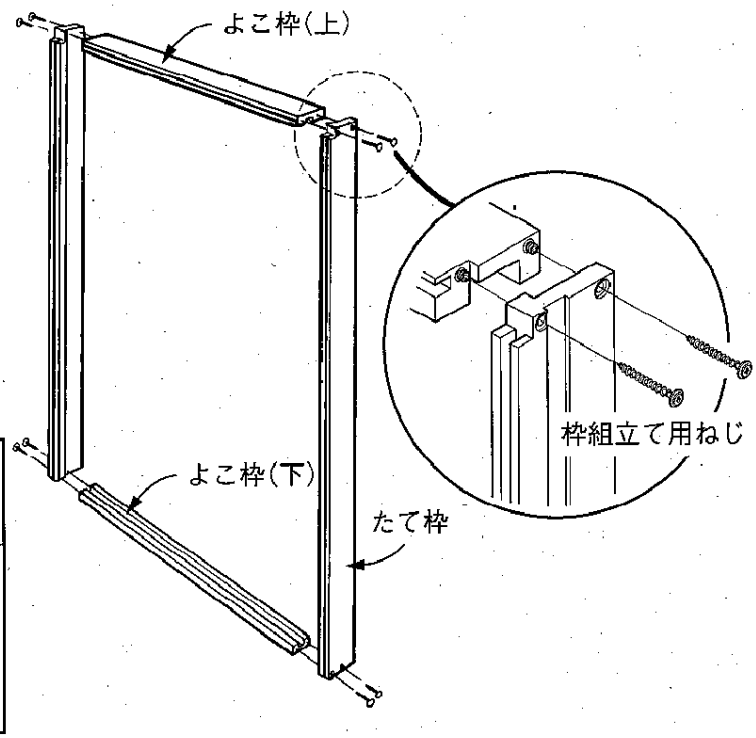
- ●開口部に幅・高さ・奥行の各内寸法の精度を十分に確保する。
- ●柱またはたて枠の垂直、床面・よこ枠の水平をそれぞれ下げ振り・水準器でよく確認する。

※幅・高さの開口部寸法は裏面の「**枠外製品寸法図**」を参照してください。

1 枠の組み立て

●たて枠とよこ枠を組み立て用ねじで組み立てる。

※よこ枠にはめ込んである上下レールを取りはずしておいてください。



⚠注意

必ず守る

●1.5間用の化粧枠の運搬は必ず二人作業で行う。

守らないと、落下によるケガの原因となります。

2 枠の取り付け

1. たて枠の取り付け

たて枠内側の下穴位置に付属の取り付け用木ねじで固定し、キャップを取り付ける。
(左右各4か所固定)

⚠注意

必ず守る

●必ず下振り・水準器などで、たて枠・よこ枠の水平・垂直の確認をする。

水平・垂直に取り付けないと、扉が落下する原因となります。

2. よこ枠の取り付け

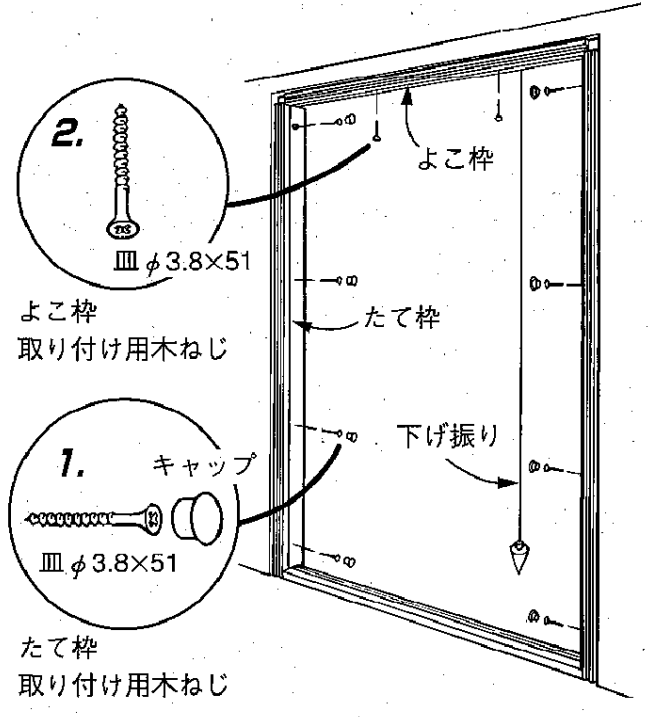
よこ枠(上)のレール溝底面に下穴をあけ、付属の取り付け用木ねじで固定する。

- 0.5間
- 0.75間
- 1.0間S

2か所固定

- 1.5間 ── 4か所固定

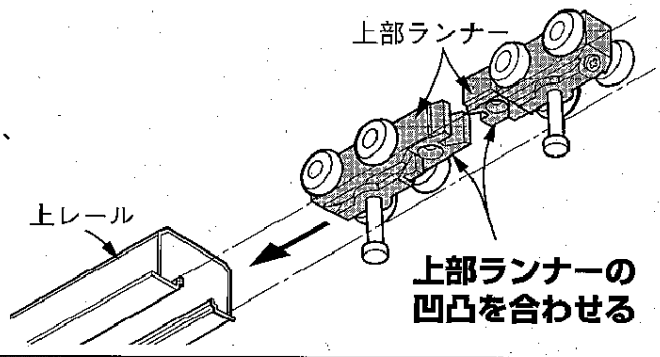
※ピッチは均等に割り振ってください。



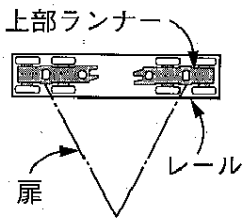
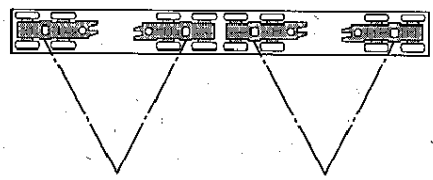
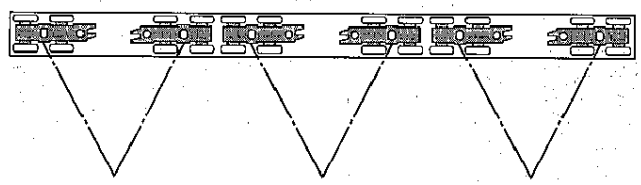
3 上部ランナーの取り付け

●上部ランナーの凹凸が合うように上レールの中へ挿入する。（レール取り付け後は入りません）

注意 上部ランナーの向きを間違えると走行不良が起きたり、吊り元固定ストッパーが取り付かなくなります。



■上部ランナーの凹凸方向（平面図）

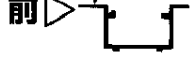
0.5間	0.75間／1.0S間	1.5間
		

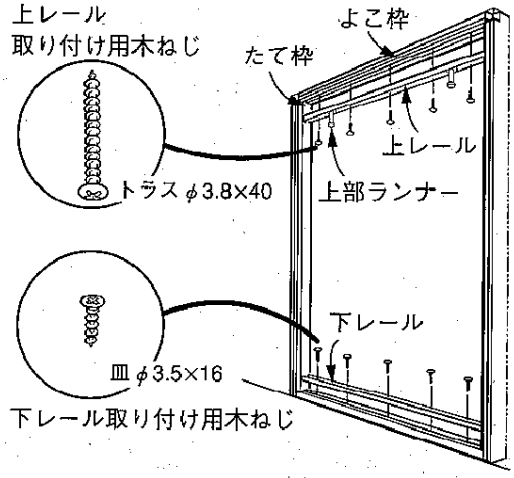
4 レールの取り付け

●上下レールを付属の取り付け用木ねじで固定する。

※レール取り付け後、上部ランナーがスムーズに動くか確認してください。

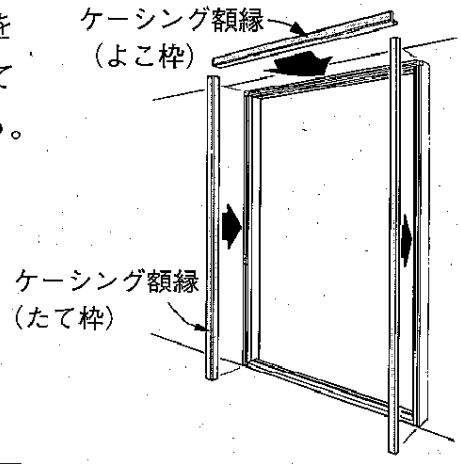
注意 ●レールは切断しないでください。
●レールを枠にきっちりはめ込んでください。

上下レールの向き	上レール	下レール
		つばが長い  前

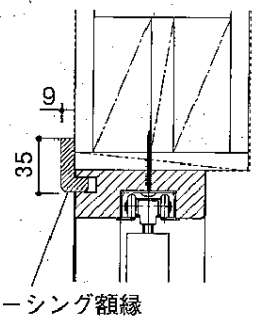


5 ケーシング額縁（別売）の取り付け

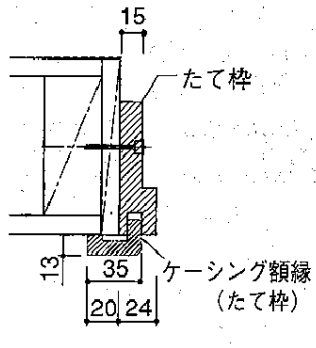
●ケーシング額縁を枠寸法に合わせて加工し、接着する。



側断面図



平断面図



枠取り付け後の確認

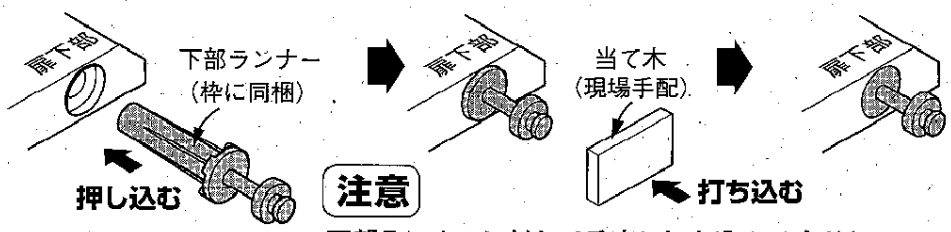
チェック項目	チェック	チェック項目	チェック
たて枠・よこ枠は垂直に取り付いていますか？		上部ランナーがスムーズに動きますか？	
上レールに上部ランナーは挿入されていますか？		下レールに浮きがありませんか？	

扉吊り込み施工手順

1 下部ランナー（枠に同梱）の取り付け

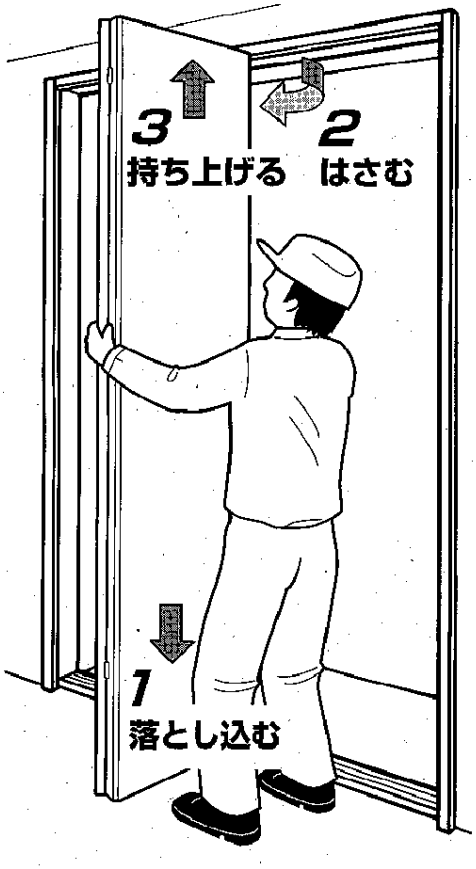
●下部ランナーを押し込み、当て木（現場手配）の上から打ち込む。

注意
養生材を敷き、商品および床面にキズがつかないように作業してください。

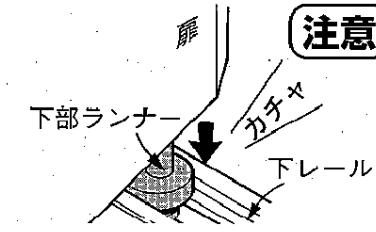


注意
下部ランナーに対して垂直に打ち込んでください。
垂直に打ち込まないと樹脂部分が割れるおそれがあります。

2 扉の吊り込み

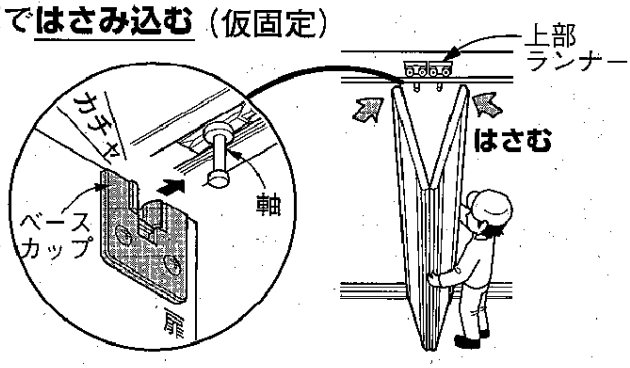


1 下部ランナーを下レールに**落とし込む**

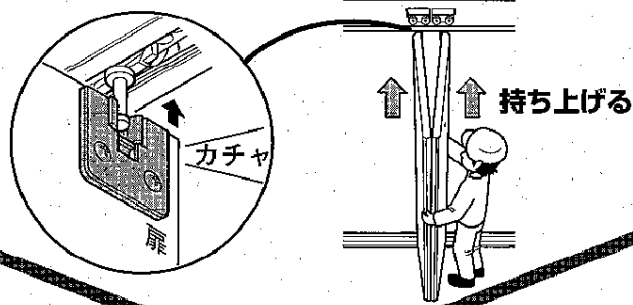


注意
●下部ランナーが下レールに確実に入っていることを確認してください。
●下部ランナーで枠やレールなどにキズをつけないようにしてください。

2 ベースカップの溝に上部ランナーの軸を合わせ、扉で**はさみ込む**（仮固定）



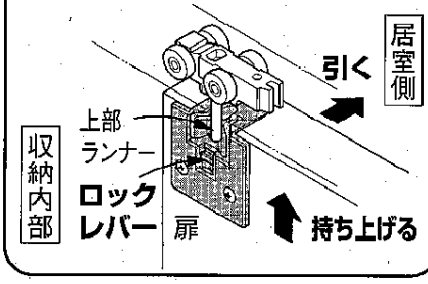
3 扉を**持ち上げ**、上吊り状態にする（本固定）



■扉のはずしかた

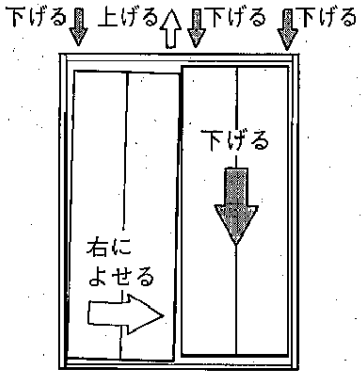
①ロックレバーを上に押し上げ、扉を持ち上げて居室側に引き、仮固定状態にする。

②扉を上部ランナーから引き離す。



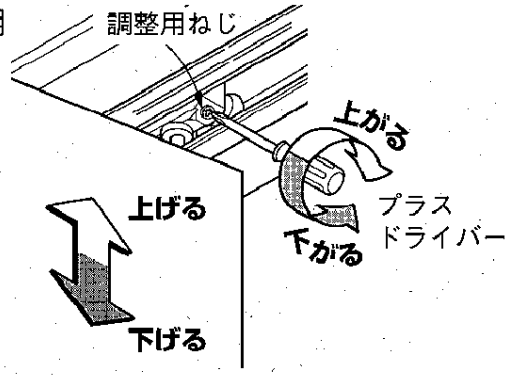
⚠注意	必ず守る	扉が確実に取り付いたことを必ず確認する。 確実に取り付いていないと、扉が落下し、ケガをする原因となります。

3 扉の調整（高さ方向）



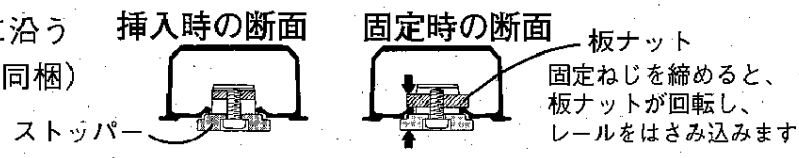
●プラスドライバーで調整用ねじをまわして調整する。
（±3mmまで調整できます）

注意
電動ドライバーは使用しないでください。

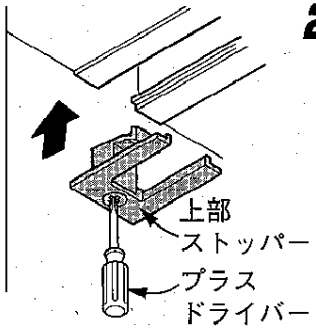


4 ストッパーの取り付け

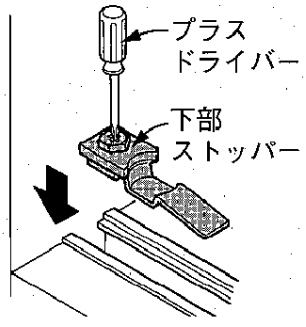
●上下レールの扉吊り元側にレールに沿うように上部・下部ストッパー（枠に同梱）を取り付ける。



1. 上部ストッパーをねじで固定する

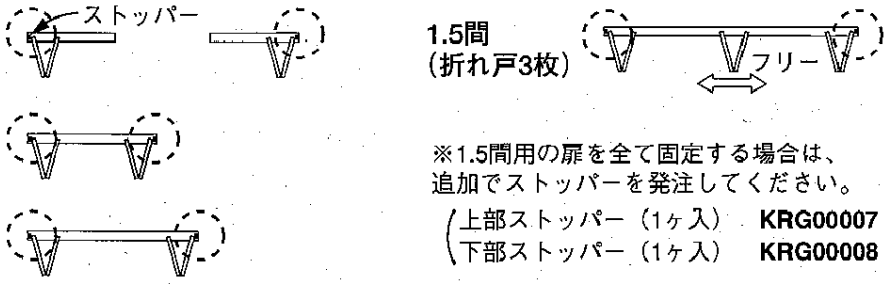


2. 下部ストッパーをねじで固定する



注意 固定ねじを締め付け過ぎないでください。（ストッパーが変形するおそれがあります。）

ストッパー取り付け位置（上下同様）

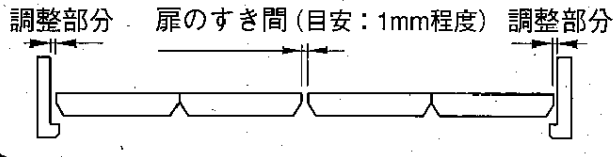


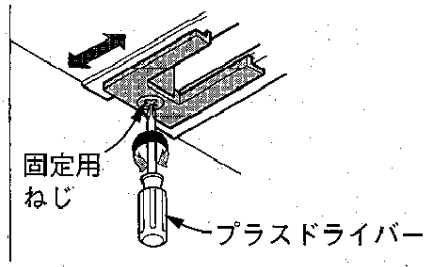
※1.5間用の扉を全て固定する場合は、追加でストッパーを発注してください。
（上部ストッパー（1ヶ入） **KRG00007**
下部ストッパー（1ヶ入） **KRG00008**）

5 扉間のすき間調整

●扉間のすき間が約1mmになるよう、上下のストッパーの位置を調整する。

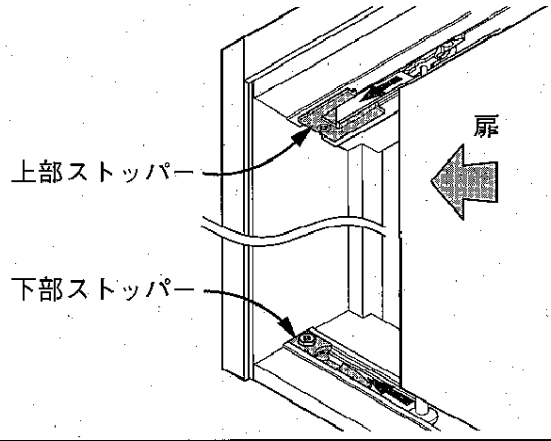
注意 扉間のすき間は、左右均等に振り分けて調整してください。





6 ストッパー位置の微調整

●扉が上下同時に固定されるように、
ストッパー位置を微調整してください。



※固定位置が上下でずれるとストッパー
のキャッチ力が弱まります。

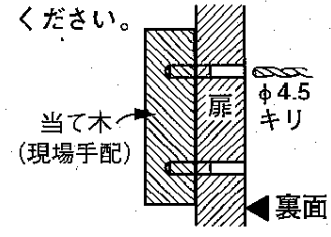
7 取っ手の取り付け

※この扉はハンドル・つまみ取っ手兼用です。

1. 取っ手の左右勝手を決め、
扉裏面から片方の扉のみ
貫通穴をあける。

取っ手穴貫通のしかた

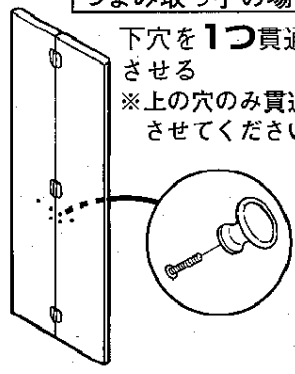
注意 扉表面に当て木(現場手配)
をして、バリ発生を防いで
ください。



2. 取り付けねじの本数のみ下穴を貫通させ、取っ手を
取り付ける。

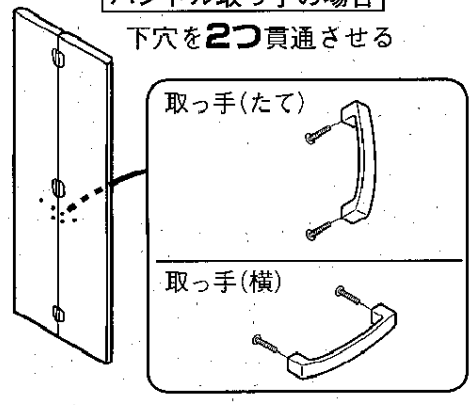
つまみ取っ手の場合

下穴を**1つ**貫通
させる
※上の穴のみ貫通
させてください。



ハンドル取っ手の場合

下穴を**2つ**貫通させる



8 施工後の確認

■下記の表に従い、施工の仕上がりをチェックしてください。

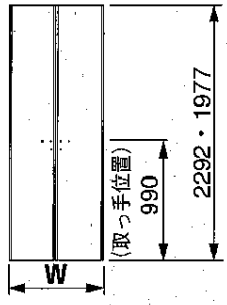
チェック項目	チェック	チェック項目	チェック
扉が確実に固定されていますか?		開閉の動きはスムーズですか ?	
ストッパーは確実に固定しましたか?		周囲に桟木やゴミなど残っていませんか?	

※施工後、周囲の建築工事に支障のないようにダンボール材などで養生してください。
(養生用弱粘テープを使用し、扉などの化粧面には直接貼付けないでください。)

扉製品寸法図

〔寸法単位:mm〕

正面図



側面図

W寸法

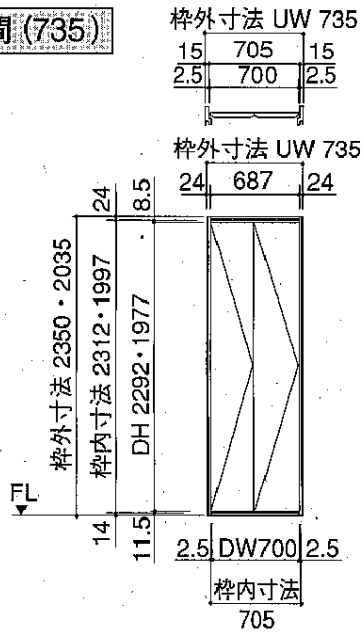
	ケーシング枠
0.5間	700
0.75間	577
1.0間S	804
1.5間	804

枠外製品寸法図

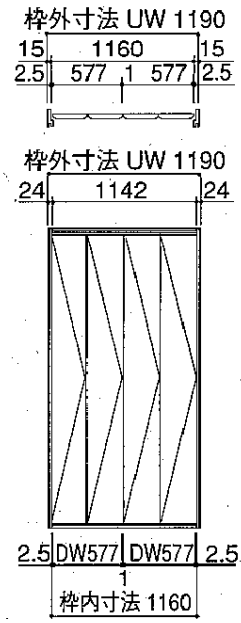
※図は額縁のない状態です。

〔寸法単位：mm〕

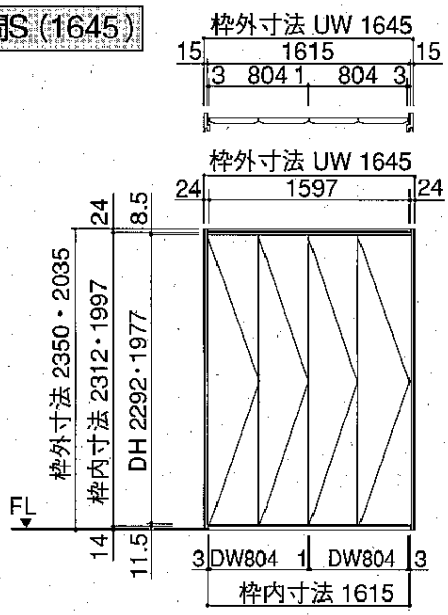
0.5間（735）



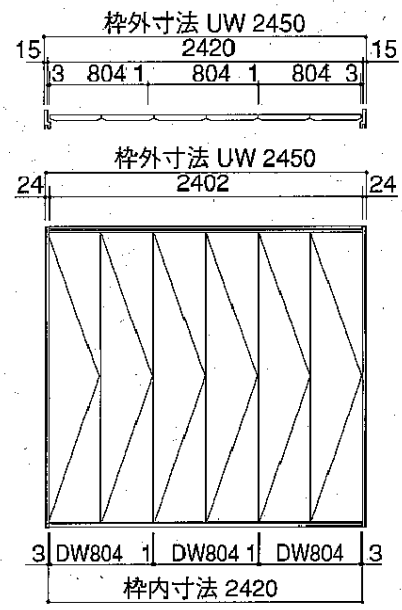
0.75間（1190）



1.0間S（1645）



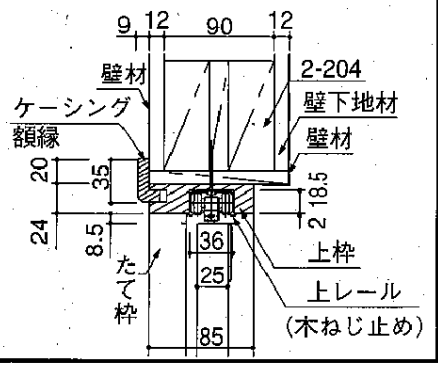
1.5間（2450）



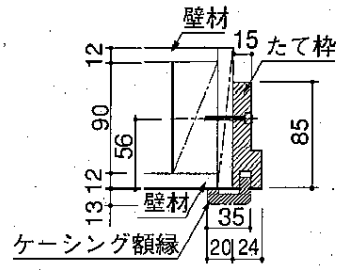
枠納まり例

〔寸法単位：mm〕

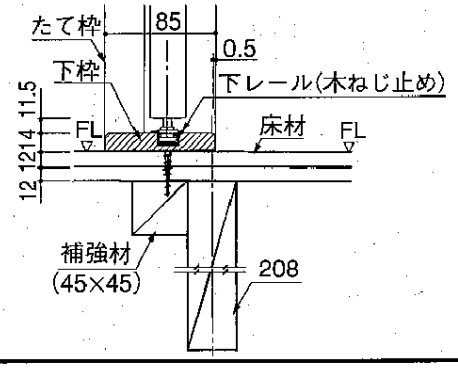
天井



壁



床



松下電工株式会社　収納システム事業部

［〒571-8686］大阪府門真市門真1048

© 2005 Matsushita Electric Works, Ltd.All Rights Reserved.